

7 川崎臨海部の戦略的なマネジメントの推進

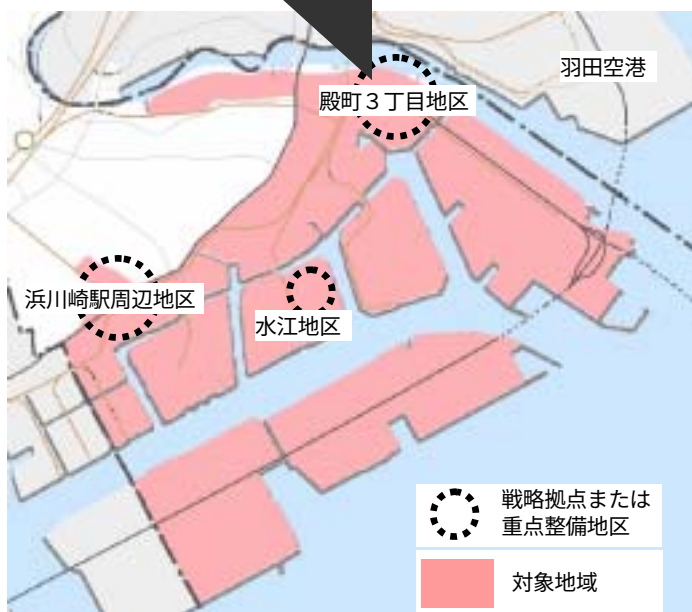
川崎臨海部の活性化や持続的な発展に資するため、戦略的なマネジメントを展開する上での指針として策定する土地利用誘導ガイドラインの4つの戦略（エリア戦略、トリガー戦略、テーマ戦略、ブランディング戦略）に基づき、地域特性を活かした土地利用の誘導を図るとともに、都市基盤の整備などに着実に取り組み、世界の拠点となる機能の集積を進めます。

●殿町3丁目地区(神奈川口)先行土地利用エリアの整備

「予算額：40,000 千円」

先行土地利用エリアの土地利用基本計画を策定し、環境・ライフサイエンス分野における研究・開発の拠点形成の核となる中核施設の整備に着手

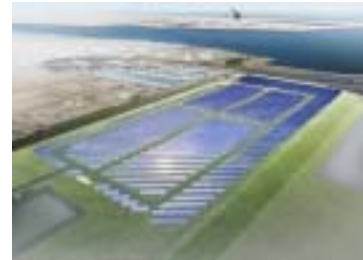
- ・先導的中核施設の配置・基本設計 10,000 千円
- ・環境総合研究所基本計画の策定 5,000 千円
- ・衛生研究所再編整備基本計画の策定 4,500 千円
(仮称健康安全研究センター)
- ・アジア起業家村新規拠点基本計画の策定 4,500 千円
- ・中核研究施設誘致計画・施設整備計画の策定 16,000 千円



◎メガソーラー

「予算額：7,000 千円」

- ・太陽光発電等PR施設の設計 7,000 千円



☆テーマ戦略

「予算額：326,780 千円」

交通環境、地球環境等のテーマ別視点に基づく有機的な関係を推進

- ・臨港道路東扇島水江町線整備 79,948 千円
- ・臨海部における緑の環境整備 246,832 千円

☆ブランディング戦略

「予算額：8,000 千円」

臨海部の魅力や先進的な取組を効果的にPRすることによる地域ブランドの確立

- ・臨海部PR情報発信事業 7,000 千円
- ・川崎臨海部産学公民連携推進事業 1,000 千円

☆エリア戦略・◇トリガー戦略

「予算額：15,185 千円」

☆臨海部を11地区に分け土地利用を誘導する取組

◇先導する拠点整備に向けた取組

- ・臨海部動向把握・情報管理業務 5,000 千円
- ・臨海部土地利用誘導事業 3,000 千円 等